

調査観測計画部会の活動状況

平成26年8月25日
地震調査研究推進本部
政策委員会調査観測計画部会

平成25年8月23日の第45回政策委員会以降、これまでの調査観測計画部会の活動状況は以下の通りである。

1. 平成26年度に調査する重点調査観測の対象活断層について

調査観測計画部会（部会長：平原和朗：京都大学大学院理学研究科教授）は、第67回会合において、平成26年度に調査する重点調査観測の対象活断層について検討を行い、罹災人口が多く社会経済活動に大きな被害を及ぼすことが予想されることや、地震後経過率が1.0と、地震発生の可能性が高いと推定されること、活動度が相対的に高いと考えられる等の理由から、別府一万年山断層帯（大分平野一湯布院断層帯東部）を選定することとした。

2. 調査観測計画の見直しについて

調査観測計画は、平成13年に「基盤的調査観測計画」を見直した以降は、これまで「今後の重点的な調査観測について（平成17年）」、「新たな活断層調査について（平成21年）」など必要に応じ、順次関連文書を追加することで対応してきた。今般、地震本部が推進する施策の方針を示した新総合基本施策が東日本大震災を踏まえ改訂されたことから、調査観測計画についても、基盤的調査観測計画のみならず関連文書をあわせ全体を見直すこととし、平成25年3月13日の第58回会合より見直しの議論を行っている。

関連する長期評価部会、津波評価部会等の関連部会・分科会や関係機関等からヒアリングを実施するなど、各調査観測についての様々な意見を踏まえ、「基盤的調査観測等」、「重点的調査観測」、「データの流通・公開について」のそれぞれについて議論を行った。第68回会合より、報告書案の審議を4回実施したうえで、7月3日～17日にかけて報告書案についてパブリックコメントを実施した。そこで得られた意見も踏まえながら、第72回会合において、報告書案について部会として決定した。

3. 高感度地震観測データの処理方法の改善について

高感度地震観測データの処理を円滑に進め、地震活動評価や地震調査研究の推進に資することを目的とし、高感度地震観測データの処理・解析結果の品質および処理・解析方法の改善・高度化等について検討するため、平成25年6月に「高感度地震観測データの処理方法の改善に関する小委員会」が設置された。そこでこの検討を受け、第65回会合では、調査観測計画部会として必要な審議を行った。

表 最近の調査観測計画部会の開催状況

開催年月日	回	議題
平成25年10月4日	第61回	(1) 調査観測計画の見直しについて (新総合基本施策の(1)海溝型地震に関する部分の調査観測のあり方について)
10月28日	第62回	(1) 陸域の調査観測の現状や課題について (ヒアリング)
11月25日	第63回	(1) 調査観測計画の見直しについて (新総合基本施策の(1)海溝型地震に関する部分の調査観測のあり方について)
12月2日	第64回	(1) 地震・津波の即時予測技術の研究開発の現状等について (ヒアリング) (2) 強震動評価部会及び津波評価部会における調査観測の見直しに関する意見
平成26年1月10日	第65回	(1) 調査観測計画の見直しについて (新総合基本施策の(1)地震動即時予測及び地震動予測の高精度化について、新総合基本施策の(2)津波即時予測技術の開発及び津波予測に関する調査観測の強化について) (2) 高感度地震観測データの処理方法の改善について
1月28日	第66回	(1) 調査観測計画の見直しについて (新総合基本施策の(3)活断層に関する調査観測のあり方について)
2月18日	第67回	(1) 平成26年度に調査する重点的調査観測の対象活断層の選定について (2) 調査観測計画の見直しについて (データの流通・公開について、基盤的調査観測等について)
3月28日	第68回	(1) 調査観測計画の見直しについて (調査観測計画【たたき台】について)
4月25日	第69回	(1) 調査観測計画の見直しについて (調査観測計画【たたき台】について)
5月16日	第70回	(1) 調査観測計画の見直しについて (調査観測計画【原案】について)
6月13日	第71回	(1) 調査観測計画の見直しについて (調査観測計画【原案】について)
7月25日	第72回	(1) 調査観測計画の見直しについて (調査観測計画(案)について)